

糸田町人口ビジョン（案）、総合戦略（案）へのご意見と回答（パブリックコメント）

「糸田町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）」「糸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に関するパブリックコメントに対する町の考え方をお答えします。このほかにも、文言や表現に関するご意見をいただきましたが、個別に判断して修正などにより対応しております。

		案に対する意見（要旨）	回 答
1	「農業を振興する」に関する意見	①新規就農者数の KPI が 5 年で 2 人は低すぎではないか。就農相談件数等も加えてはどうか。	①糸田町の活性化のため、農業の推進は今後進めていくべき課題の 1 つであると認識しています。しかしながら、本町は耕作地面積・耕作放棄地ともに少なく、新たに農業を始めるための土地があまりないため近年では新規就農者がいない、という現状を踏まえた KPI としています。就農相談を含めた施策を展開し、事業効果を評価する中で、KPI の設定についても再度検討していきたいと考えています。
2	「六次産業化を推進する」に関する意見	①加工品売上額の KPI を 5 年間で約 2.5 倍としているが、見込みはどうか。	①加工品の生産・販売体制を組織的に整え、道の駅いとだを中心に販路を拡大していくことで、KPI を達成できると見込んでいます。

		案に対する意見（要旨）	回 答
3	「商工業を振興する」に関する意見	<p>①誘致件数の KPI が 5 年で 1 件では低すぎではないか。企業誘致と起業件数を分けてはどうか。また、工場等の設置奨励には企業誘致の面もあるのではないか。</p> <p>②就業者支援なのか創業者支援なのかが分かりにくく、施策と内容の整合が見えづらい。</p> <p>③空き店舗活用数の KPI はお試し開業を含めたものか、それとも空き店舗を活用した件数か。</p>	<p>①② 外部人材の還流やしごとの創生といった、総合戦略の根幹に関わる部分へのご指摘と受け止めています。企業の誘致や起業、就業者への支援のいずれも商工業の振興に欠かせない分野であり、ご指摘を踏まえて戦略を検討してまいります。</p> <p>③空き店舗活用数の KPI にはお試し開業を含めた空き店舗の活用件数になります。KPI の設定値については、再度検討したいと考えています。</p>
4	「観光を振興する」に関する意見	<p>①観光客のおもてなし体制強化の KPI が講習参加者数だと、成果指標にならない（単純な結果）。認定試験の導入等の工夫を入れた方が良くはないか。</p> <p>②観光誘致にあたり、町内だけでなく田川市郡の観光ボランティアを育成する方が、観光客にとって良いのではないか。</p> <p>③県が実施していた「たがわ案内人」養成講座はうまくいかなかったのか。</p>	<p>①成果指標を「観光関連講習修了者数」とし、観光客に対して一定水準以上のおもてなしができる人材の掘り起し・育成を図ることを目指します。</p> <p>②本戦略では、広域観光にも対応できる観光ボランティアの育成を目指しています。</p> <p>③「たがわ案内人」養成講座は平成 24 年度で終了しております。ガイド養成講座（全 3 回）は、受講者 11 人（うち講座修了者 10 人）、おもてなし講座は受講者 32 人（うち講座修了者 32 人）の実績があり、観光関連人材を育成する手法の 1 つとして、参考にしたいと考えています。</p>

		案に対する意見（要旨）	回 答
5	「結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援を行う」に関する意見	①子育て支援室利用者数の KPI が基準値と同数だが、誤りではないか。	①誤りではありません。 糸田町の将来人口は減少すると推計されています。子どもや子育て世代の人口も減少が見込まれる中、現在の利用者数を維持することを目標としています。
6	「教育環境を整備・充実する」に関する意見	①学力・学習状況調査の県平均と比較すると、小学校よりも中学校の方が大きな差が生じているが、原因は特定されているか。また、特定されている場合、各事業により改善が期待されるのか。 ②小中学校ともに 5%改善を目指しているようだが、中学校に注力する方が全体の効果が高いのではないか。	①一例として「朝食と学力」「スマホや携帯と学力」の相関関係や「家庭学習の定着」「通塾」など、いずれの項目も全国平均・県平均より悪い状況があるなど、原因は特定されています。家庭における生活習慣に対する指導や学力補充教室の拡充など、小中が連携した取り組みを行うことにより改善が期待できます。また、ICT 教育の導入を推進するなど、わかりやすい授業を展開することによる学習意欲の喚起にも取り組んでまいります。 ②本施策は子どもたちの学力向上を目的としています。小学校での基礎的な学力がなければ、中学校の学力は上がらないと考えておりますので、小中両方での学力改善を目指す指標としています。
7	「安心で、快適なまちをつくる」に関する意見	①糸田町は飯塚市に隣接していることを活かし、田川市よりも飯塚市との連携を強めるべきではないか。	①糸田町は田川地域の西側に位置し、田川市と飯塚市に囲まれるように立地しています。田川市も飯塚市も同じ筑豊地域の一員であり、町の発展にはいずれか一方ではなく、両市との連携を強めることが大切であると考えています。